

2022 年度第 1 回ルール委員会議事録

開催日時:2022年6月26日(日)10:00~16:00

開催場所:JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE&オンラインミーティング(ZOOM)

参加者 :増田委員長、加藤副委員長、今津副委員長、藤井副委員長、古川委員、岡部委員、木内委員、日下部委員、高野委員、佐藤(厚)委員、松原委員、渡辺(勝)委員、稲葉委員、田中委員、柴沼委員、榛葉委員、山口委員、大村委員、村松顧問委員、藤本事務局員

【オンライン】富松委員、林委員、中野委員、宮崎委員、石川(彰)委員

【記】石川(雅) 計26名 ※順不同

増田委員長挨拶

参加者 自己紹介

1. <協議>2022-2023年度ルール委員会運営

- ・ルール委員会体制の説明。外洋のみ副小委員長は2名。
各小委員会体制の説明。全体会議は年3回。6月、12月、3月を予定。
小委員長会議は、昨年月1回だったが、今年度は年3回とする。JSAFのZOOMを使用して、小委員会内で会議をしてもらってもよい。全体会議は、3回のうち1回は対面としたい。
ワーキンググループは必要に応じて立ち上げる。

<主な意見>

- ・前年度から使用している Slack の使用方法
前回は3役と正副小委員長、事務局が対象。各小委員会で使用してもらってもよい。

2. <協議>2022年度小委員会活動計画

2.1 ジャッジ小委員会

- ・NJA 新規認定を4月に北海道で開催(年2~3回予定)
- ・ジャッジクリニック

<意見>

A級ジャッジ認定講習を国体(佐賀、宮崎)がある九州での計画をお願いしたい。
B級ジャッジの認定講習の試験問題で回答が間違っているものがある。見直しかけてはどうか。
対応中。業者と直接行う。
WSポリシーはアップ済み。ただし、これはWSの大会に関するものであり、国内大会にそのまま適用されるものではない。JSAFとして標準的なものを作成すべき。
ジャッジマニュアルを早く発行してもらいたい。訳がまだの方がいたので現在やっている。

2.2 アンパイア小委員会

- ・マッチを今津、フリートを岡部、チームを藤井。
- ・岡部・高野:九州、藤井:中国、今津:関西、田中・渡邊:関東、岡嶋:宮城(石川フォロー)
- ・NU 認定講習を12月に予定。

<意見>

フリートレースアンパイアマニュアルの日本語訳よくできているのでぜひ読んでもらいたい。

20艇のフリートレースの場合のアンパイア制は可能か？

→15 艇程度が限度かと思われる。アンパイアボートは 4 艇がベスト。20 艇の場合は、審問ありのハイブリットが必要ではないかと思われる。

2.3 IJU 育成小委員会

- 全ての日本人候補者の IJU セミナ/テスト合格有効期限が切れた。
- 今後の育成の活動計画

2.4 外洋規則小委員会

- 小副委員長 2 名体制
- 他小委員会との連携

<意見>

外洋艇(インショア)の SI の標準としてジャパンカップ等を参考にしているが、バラバラ。付則 LG に準拠した書き方に統一したほうが良いのでは。

→ORC のを参考にすればよい。

2.5 規程管理小委員会

- Submission に意見がある場合、11 月に JSAF として意見を示す。
- Submission の新提案。
- 付則および試行規則並びに各種規程等の翻訳は、他の小委員会にも校正・確認を依頼する。
- RRS50.1(c)「ハーネス」に係る RRS 緊急改定への対応。

2.6 普及小委員会

- 事業の見直し
 - ルール検定制度の立ち上げ
 - 指導者・選手向けルール講習会の自己評価

3. <審議>2022年度 IJU 候補推薦委員会委員の選任

→賛成多数で承認

4. <審議>World sailing への RRS 改定の提案

4.1. 付則LG SI16.3

→賛成多数で Proposal 2 のみ提案する。

4.2. RRS28.1、A6.1、A10(緊急改定提案)

→賛成多数で承認

4.3. 規則A4

→賛成多数で承認

付帯決議として、文言、二つの提案の関連性は委員長に委任。

5. <報告>RRS50.1(c)緊急改定に関連したJSAFの対応

トラピーズ・ハーネスのクイック・リリース式は 2023/1/1→2025/1/1 に変更となる。

6. ケース研究

6.1. RRS69の適用事例

今年度のある大会で RRS69 が適用された事例について報告され、意見交換が行われた。

6.2. 規則 42 スカル

- ・次回へ

6.3. その他

- ・なし

7. その他

7.1. <報告>事務局からの報告

- ・ジャッジ・アンパイア資格状況

NJA、NJB の年齢別→男女別で出してほしいが？→次回対応する。

7.2. その他

RRS.org (通称オルグ) でやったがネット環境が悪い。

誰も抗議が出せない状況だった。JOC。

添付図が送れなかったりした。以前もそうだったか、なぜ改善されないのか選手が訴えていた。

システムの問題ではなく、通信環境の問題ではないか。

オルグのみでなく、紙、オープンチャットなど併用すれば、抗議書が提出できないという問題は発生しないと思われる。

- ・次回、オンライン模擬審問できないでしょうか？

- ・利益相反 2 条と 8 条以外はまだ検討中 JSAF 規程9の追加の提案も。今後総務委員会と検討。

以上